

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
207	ベルトコンベアの火災	火災	2018/10/2	広島県	なし	ボイラーに連結しているベルトコンベア上にあった物質から出火したもの。10:32に鎮火。(詳細は調査中)
208	重油直接脱硫装置からナフサが漏えい	漏えい	2018/10/2	宮城県	なし	10月2日(火)14時30分頃、同所C-5地区重油直接脱硫装置群のRDS-TW-02のオーバーヘッド配管の保温下からナフサ(ガソリン留分)が微量漏えいしているのを、点検中の職員が発見したため、当該重油直接脱硫装置を停止した。16時41分消防と同所職員が現場を点検し、漏えいが停止したことを確認し、消防は指揮権を同所へ戻し、退所した。同所は事故原因の調査を実施中。
209	イソブチレン抽出装置からブテン及び硫酸ミストが漏えい	漏えい	2018/10/4	神奈川県	なし	イソブチレン抽出装置の熱交換器(E-1171)の出口側下流配管のお知らせ穴からLPG留分(硫酸含む)が漏洩したもの。(元圧760kPa)
210	ベルトコンベアの火災	火災	2018/10/4	広島県	なし	5焼結工場に設置されている全長66m、幅60cmのベルトコンベアの一部(約30m)が焼け落ちた。火災は同日4日(木)22:17に鎮火。周辺地域への影響なし。
211	海上にベンゼンの漏えい	漏えい	2018/10/4	香川県	なし	船への出荷作業のため送油していた配管から粗製ベンゼン(ベンゼンライトオイル、BLO)が海上(オイルフェンス内)に漏えいしたもの。漏えい量は不明。
212	発電機ユニットからエンジンオイルの漏えい	漏えい	2018/10/5	大阪府	なし	発電機ユニットのエンジンオイル給油口からエンジンオイルが漏えい。漏えいしたオイルはユニットのオイルパン内にとどまり、外部への流出はない。(漏洩量 約10ℓ程度)
213	タンクの配管から軽油が漏えい	漏えい	2018/10/5	神奈川県	なし	タービンスタートアップ用の燃料の屋外軽油タンク貯蔵所の付属配管(戻り配管のドレインネック部分)の戻り配管から軽油が1秒に一滴程度漏洩しているもの。10月5日18:00時点で、約30リットル漏洩。10月6日17:30パテ埋めによる応急措置完了。
214	灯油の屋外タンクのポンプから油のにじみ	漏えい	2018/10/5	千葉県	なし	灯油の屋外タンク貯蔵所(タンク106)のポンプを点検中に、油のにじみを発見したもの。ポンプ内には100cc程度の漏洩。
215	分解点検中に苛性ソーダの漏えい	漏えい	2018/10/9	三重県	軽傷2名	ポンプ分解整備のためケーシングを外したところ、内部から苛性ソーダが1900L漏えい。苛性ソーダは防液堤内に納まり、外部への影響はない。作業者が2名被液し、軽症。バルブを閉じて漏えいは止まった。
216	間接脱硫装置のポンプ配管からナフサの漏えい	漏えい	2018/10/10	茨城県	なし	間接脱硫装置(2RD)の硫化水素ストリップオーバーヘッドオイルポンプ(PU-203)入口配管より、ナフサが漏洩。1秒に1滴程度の漏洩。(拡大の恐れなし、海上流出の恐れなし)

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
217	連鑄工場内のスラブから火柱の発生	火災	2018/10/10	千葉県	なし	連鑄工場内のスラブ上で何らかの原因により火柱が発生した。高温物を取り扱う施設であるため、温度が低下後に発災箇所の詳細を確認する。
218	実験台のガラス管の装置のゴム管からの出火	火災	2018/10/11	広島県	なし	研究所6棟2階の実験台において、原料を吸入する「6方コック」と呼ばれるガラス管の装置に電熱ヒーターが巻き付けられており、実験開始前の午前8時から160℃の温度で加熱を開始したところ、下部にはめ込んであるゴム管からろうそく状の炎が立ち上がっていたのを発見。(直ちに消火器により消火、他への延焼なし)
219	タンクの浮き屋根からガソリンがリング側溝まで流出	漏えい	2018/10/11	神奈川県	なし	屋外タンク貯蔵所 No.512タンク(特定屋外タンク、浮き屋根式)においてタンカーから当該タンクへ荷卸したガソリンにエアが混じり、浮き屋根の上に流出したガソリンがルーフトレンを伝わり、タンク周囲のリング側溝に滞留したもの。流出量は約270リットル。10月11日23:52漏洩停止。
220	製鉄所の鉄鉱石を運搬するコンベアから出火	火災	2018/10/16	愛知県	なし	鉄鉱石を搬送するコンベアの軸部分から出火し、ベアリング等を焼損したもの。6:36鎮火
221	残湯脱硫装置の硫黄回収装置から硫黄の漏えい	漏えい	2018/10/16	神奈川県	なし	残油脱硫装置内の硫黄回収装置の点検口から硫黄が漏洩流出したもの。なお、負傷者等はない。同日8:25ガス漏洩警報器が発報。8:30硫黄回収装置のコンデンサーから硫黄回収地下ピットへ至る配管に設置された点検口周囲に硫黄が噴き出した跡を発見。8:40装置の停止作業を実施。9:30装置内のガスを窒素へ置換する作業開始。9:40装置の停止。10:29地下ピットの温度低下に伴い現場のガス検知作業を開始。11:02漏洩等が治まっていることを確認。
222	原油タンク配管から原油の漏えい	漏えい	2018/10/17	茨城県	なし	原油タンク地区内からの配管(サイズ42B)・バタフライ弁フランジから原油が漏洩したもの。海上流出の恐れなし。詳細は調査中。Q1381同日11:33目視でのフランジ部からの漏洩は停止中。12:34漏洩部のフランジ増締め作業完了。13:02仮設ポンプによる配管・滞油の転送作業開始。13:19漏洩油回収完了(回収量170L)。・・・油分の付着した土壌回収は継続中。
223	グリースの漏えい	漏えい	2018/10/19	神奈川県	重傷者1名	グリース(液温90℃から120℃)の脱臭工程により調合タンク内に水を投入したところ、グリースと熱水が溢れ出し、グリースの流出(約400～600リットル)と作業員が受傷したもの。
224	押出機ギアポンプからの出火	火災	2018/10/20	千葉県	なし	同工場MXプラントの押出機ギアポンプ(Z-402)付近から出火し、火災報知器が作動した。運転員が直ちに公設消防に通報するとともに初期消火を行った。10:30に公設消防から鎮火宣言が出された。
225	エンジンテスト中のオイルヒーターの焼損	火災	2018/10/22	神奈川県	なし	エンジンテストベンチにおいて、エンジンに接続させたエンジンオイルヒーター及び保温材が焼損。初期消火後、他の部屋のテストベンチのエンジン試験設備も停止している。

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
226	洗浄液(エチレングリコール)の漏えい、出火	火災	2018/10/24	山口県	なし	ポリエステル樹脂の製造施設において、反応器の洗浄作業後、洗浄液(エチレングリコール)の抽出し作業中に、洗浄液が漏えいし発火。火災については、消火器による消火活動により消火。24日23時57分に消防隊が鎮火確認。
227	熱交換器が焼損	火災	2018/11/1	千葉県	なし	同工場の熱交換器が焼損。同日17:20鎮火。
228	無水酢酸の噴出による作業員の負傷	漏えい	2018/11/4	広島県	あり(中等症)	製造所のスタートアップ作業のため、屋外タンク貯蔵所から無水酢酸を製造所内20号タンクへ受け入れる際に、20号タンク受入ノズルに設置されたバルブを開けたところ、バルブ2次側の接続フランジ部から霧状の無水酢酸が噴出。バルブ操作を行っていた作業員が被液したもの。(漏えい量は1ℓ未満)
229	廃油回収装置のポンプによって、油が海上に流出	漏えい	2018/11/6	神奈川県	なし	大雨により、廃油回収装置内の排水処理槽の予備ポンプを起動させたところ、構内で分離した水以外の油分(廃油分)まで排水溝から運河へ排出され、海上に油膜が一時的にできたもの。
230	貿易堤内に油の流出	漏えい	2018/11/6	福岡県	なし	潤滑油(第4石油類)を20号タンクへ移送中にオーバーフローし、通気管から約400ℓが流出。流出した油は防油堤内で収まっている。事業所の自衛消防隊で対応。
231	配管からジイソプロパノールアミンの漏えい	漏えい	2018/11/7	神奈川県	なし	接触改質装置の配管からジイソプロパノールアミンが霧状に漏洩(漏洩量不明)
232	オープンから煙	火災	2018/11/9	千葉県	なし	厚生棟2階オープンから煙。隊員3名侵入。22:32レンジ電源オフ。水道水にて冷却。23:04鎮火。
233	ボイラーの配管から重油が海上に漏えい	漏えい	2018/11/11	神奈川県	なし	一般取扱所第3号ボイラーの配管からC重油約200リットルから300リットルが漏洩し、海上に油膜程度の油が漏洩したもの。
234	樹脂状に放置していたウエスが発火	火災	2018/11/12	千葉県	なし	ヘキサメチレンジイソシアネートとアルコールを混合させ樹脂製品を作る施設から、樹脂サンプルを紙袋に採取し、初期に採取した異物が混じったサンプルを廃棄するため、中和剤を加え固める工程(200℃程度の発熱を伴う)を実施していたところ、紙袋及び樹脂上に放置していたウエスが発火したもの。9:00鎮火確認。
235	硫黄回収タンクから硫黄の漏えい	漏えい	2018/11/12	和歌山県	なし	硫酸回収タンク本体側板の保温の下部より、硫黄漏えい。
236	タンクから灯油の漏えい	漏えい	2018/11/12	大阪府	なし	船舶燃料タンク(110kl)に灯油を給油作業中、オーバーフローにより海上漏えい(漏えい量100ℓ未満)。

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
237	ABS樹脂の塊が発熱し分解ガスが発生した結果、作業員2名の負傷	火災	2018/11/15	山口県	軽症2名	難燃性ABS樹脂製造工程において、スラリー状のABS樹脂を糸状に押し出す機器の後の冷却水槽内で糸状の樹脂が切れて塊状になり、水槽からはみ出たABS樹脂の塊が発熱し分解ガスが発生。このガスを吸った2名の男性従業員がのどの痛み及び頭痛(各々軽症)により医療機関へ救急搬送された。事業所従業員により、分解ガスが発生したABS樹脂の塊に、工場設置の屋内消火栓により放水冷却を実施。事業所外への影響なし。
238	グリス、機械油に引火	火災	2018/11/15	愛知県	なし	薄板の溶断作業中に溶断火花が周囲のグリス、機械油に引火したもの
239	溶鉄が着衣に着火	火災	2018/11/18	千葉県	1名負傷	製鉄所が所有する第1製鋼工場内の鑄鉄機工場において、協力会社の作業員の作業服に溶鉄が飛散して着火した。背部にⅡ度熱傷(8～9%軽傷)を負ったもの。なお、建物被害なし。負傷者は病院を受信後帰宅。
240	配管からハイドロカーボンが噴出し、出火	火災	2018/11/20	愛知県	なし	ベント(配管)からハイドロカーボン(油、水素等)が噴出し出火(推定)。事業所従業員により消火器等で消火済。
241	ポリピレン押し出し機の焼損	火災	2018/11/20	神奈川県	なし	耐火造6階建、建面積768平方メートル、延べ面積3201平方メートルのうち、1階作業場のPP押し出し機(粒状のポリピレンを成形し押し出す機械)1基焼損
242	溶断中の火花が着火し、火傷	火災	2018/11/21	大分県	人的被害1名	建屋外壁の波形鉄板をガス溶断作業中に溶断火花が衣服に着火し火傷を負った。
243	ワックスによる転倒負傷	漏えい	2018/11/25	広島県	軽症1名	圧縮機室添加剤調整所(コンプレッサー室)において、原料のエチレンを受け入れ、樹脂製品であるポリマーを製造する過程において、不純物である廃ワックス(ニュクレル)を塔槽類のワックスコレクター下部からドラムに抜き取る際、通常、廃ワックスはワックスコレクターから廃ワックスコンテナに配管により移送されるが、スチーム温度が150℃から100℃に下がったため、ワックスコレクター内で廃ワックスが固化し、廃ワックスコンテナへの移送が停止した。そのため、スチームの異常を復旧し、再度150℃で加熱させ、抜き取り作業を実施していたが、バルブを開放しても固化した廃ワックスが出てこなかったため、バルブを開放したまま作業員が現場を離れた。その間にドラムに流れ出て、ドラムに入りきらなくなった廃ワックスが流出したもの。 作業員が現場にあわてて戻ってきた際、ワックスで足が滑り転倒し、両手両足に熱傷を負った。 流出量は80kgで、施設外への流出はない。
244	ペール精製機の配管から潤滑油の漏えい	漏えい	2018/11/25	千葉県	なし	ペール精製機の配管から潤滑油が薬800リットル程度漏洩したもの。なお、事業所敷地外への油の流出はない。11/25 16:20 発生、18:40 漏洩停止。 また、正確な漏洩量については、油を回収した後に算定を行う。

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
245	ドラム缶に穴があき、潤滑油の漏えい	漏えい	2018/11/27	和歌山県	なし	ルブ調整室内の200Lドラム缶に穴があき、潤滑油添加剤(第4類第3石類)が約160L漏えい
246	反応釜が爆発	爆発	2018/11/28	兵庫県	なし	敷地内一般取扱所中間製品(アルカリセルロース)に二硫化炭素を加えビスコースにする施設において、反応釜を洗浄するため、釜に残っていた二硫化炭素を払い出し、水を入れて自動洗浄を始めたところ反応釜が爆発した。
247	タンクが異常反応し、白煙が発生	その他	2018/11/29	広島県	なし	<p>危険物のタンクのうち5立米のタンクから白煙が上がったことを覚知。当初は漏えいと思ったが漏れはなく何らかの原因でタンク内の温度上昇があったもの。</p> <p>DCS画面では50度までしか確認できずこれを振り切った状況。冷却とともに20トンの地下貯槽に水を張り落とし込む作業中終了。人的被害はない。</p> <p>当初、タンク3槽(5立米、5立米及び10立米)の内、1槽のみが異常な温度上昇し20トンの地下貯槽に水を張り落とし込む作業を行った(作業は終了)が、その後残りの2槽のタンクも温度上昇したため、もう一つの5立米のタンクも同様に地下貯槽に落とし込みを行った(作業終了)。</p> <p>しかし、残り1つの10立米タンクにあっては地下水槽に落とし込みが出来ない構造となっていることから、ポンプを使って製造タンクに移送していたが、温度上昇(126℃)したためポンプにインターロックがかかったとのこと。</p> <p>現在、内部循環によるブライン冷却で温度上昇を抑えているが、消防において直接10立米タンクに注水することを検討中であるとのこと。</p> <p>(参考) 引火点 72℃(密閉式)、分解温度 166℃</p> <p>現在の状況(中村保安課長からの情報)</p> <p>17:17 タンク表面温度120度 だったものが</p> <p>18:40 " 105.8度まで下がった。</p> <p>ただし、この温度は表面温度であるので、楽観視はできない。</p> <p>消防との打ち合わせで、今晩はタンクの周りを冷やし温度を下げることを継続。明日、タンク内の温度が下がった事が確認できれば内部への注水を検討。よって、今晩の消防の体制は現場に4名を置くのみ。</p>
248	ボイラー配管から白煙が発生	火災	2018/11/29	愛知県	なし	中部電力西名古屋火力発電所 7-1号HRSG(排熱ボイラー)高圧加熱器出口逆止弁保温材に雨水が入らないようにコーキング材が施工しており、このコーキング材から出火したもの。出火原因となったコーキング材を除去。
249	配管から塩酸の漏えい	漏えい	2018/11/29	和歌山県	なし	35%の塩酸が純水装置(ボイラー用の水を作る装置)の配管(1インチ)から漏えい(42L)した。
250	ポリエチレン製造施設の反応器底部で火災	火災	2018/11/30	千葉県	なし	ポリエチレン製造施設の反応器(EP805-1)底部付近で火災が発生したもの。11月30日21:57公設消防により鎮火宣言。
251	ベルトコンベアの鉱石から火災	火災	2018/11/30	大分県	なし	焼結工場内11CS建屋のベルトコンベアに焼き固めた鉱石が誤って落ちて燃えだした。コンベアの燃えた部分は地上から高さ約5m、長さ約40m。

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
252	配管フランジからポリエーテルポリオール の漏えい	漏えい	2018/12/1	山口県	なし	ポリエーテル製造過程の反応器ボトム部分の配管フランジより内容物(ポリエーテルポリオール)が約700リットル漏えい。 反応器内の内容物を別タンクに移送するとともに、漏えいした内容物を廃液処理槽に移液した(移液完了済)。外部への流出なし。
253	タンク底板の演習から パラフィンワックスの漏えい	漏えい	2018/12/5	和歌山県	なし	タンク#260のパラフィンワックスがタンク底板の円周から漏えい(漏洩量12L)。パラフィンワックスは固まっている状態。
254	蒸留塔リボイラーのノズル からオキシコールの漏えい	漏えい	2018/12/7	千葉県	なし	アルコールプラントの蒸留塔リボイラー(3E410)の下部のノズルからオキシコールが漏洩したもの。流出はプラント内で収まっており、海への流出はない。
255	貯蔵タンクから濃硫酸 の漏えい	漏えい	2018/12/9	神奈川県	なし	IGCC装置(石炭ガス化複合発電装置)の貯蔵タンク(容量22kL)から濃硫酸が毎分100cc漏洩していた。漏洩部への閉鎖ができるバルブが無いことから、9日13時からタンク内の濃硫酸の抜き取りを開始。14時10分、同日のタンク内濃硫酸の抜き取り作業は終了(第1回目)。今後、タンク内の濃硫酸を全て抜き取り(約1日間)、その後漏洩箇所の確認を行う。12月9日11時10分、現場事故対策本部設置。11時13分非常対策本部設置。
256	テーブル上の雑物が火災	火災	2018/12/10	神奈川県	なし	事務所のテーブル上の雑物が燃えた。消火器を用いて消火済み
257	タンクの配管から重油 が漏えい	漏えい	2018/12/11	愛知県	なし	特定屋外タンク貯蔵所(重油)のポンプヤード内、タンクへの戻り配管から重油が約48L漏えいしたもの。事業所により発見後、施設の停止及び漏えいした重油の回収作業を実施し、施設外への重油の漏えいは無し。
258	無水フタル液の飛散により 従業員が病院搬送	漏えい	2018/12/11	神奈川県	負傷者1名	施設内配管開口部から無水フタル酸が漏れたもの。漏えいは停止した模様だが、風により綿状の物が事業所外に飛散し、隣接事業所従業員が気分悪化、病院へ搬送。
259	バルブからペグメアが 漏えい	漏えい	2018/12/11	神奈川県	なし	サンプリング作業中に配管のバルブを開放したところ、圧がかかっており、当該物質(物質名:ペグメア)が漏えいして、飛散した。漏えい量は約20L。現在漏えいは停止済み。回収作業中。
260	溶接の火により養生 シートが焼損	火災	2018/12/11	大阪府	なし	尿素を保管している倉庫の屋根を修理するため、ガス溶接作業を行っていたところ(アセチレン、酸素を使用)、溶接の火が屋根を養生していたシートを焼損した。11:52に鎮火。
261	ホッパータンク内のチタン 粉に着火し、出火。	火災	2018/12/13	兵庫県	なし	チタン溶解工場内のホッパータンク内からチタン粉に何らかの原因で火が着き出火。タンクにふたをし真空にし、冷却。

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
262	屋外タンク出荷用配管流量計から重油が漏えい	漏えい	2018/12/14	大阪府	なし	屋外タンク出荷用配管流量計よりC重油が約少量漏えい。
263	廃硫酸回収タンクからの出火	火災	2018/12/14	岡山県	なし	LPGから硫酸を触媒にして反応させガソリンを製造するプラントにおいて、触媒に使用する硫酸を廃酸から回収し再生する施設のタンク(濃硫酸)から出火し、不純物の可燃性ガスが燃焼した。濃硫酸に水をかけると危険なため、消防判断でガスを燃やしつぎることとし、窒素によりコントロールした。18時17分に鎮火。場外への影響はない。
264	水素圧縮機モーター破損により屋外タンクに穴	破損	2018/12/15	山口県	なし	アノン、アノール製造施設において、水素ガス圧縮機のモーター軸が何らかの原因で破損し、破損した部品が飛散し、屋外タンク(149KL)に当たり、タンク中段の側板に約30cmの穴があいた。(漏えいなし) 圧縮機からの水素漏えいはなし。タンク内の在液(約80KL)は移液。
265	接岸中のアルコール船から潤滑油の漏えい	漏えい	2018/12/18	茨城県	なし	8号バース接岸中のアルコール船にて潤滑油が漏えいした。海上への漏えいなし。負傷者なし。漏えい量は2～3リットル
266	配管からプロピレンの漏えい	漏えい	2018/12/18	茨城県	なし	地上から高さ4～5mの配管よりプロピレンが漏えいした。漏洩箇所を脱圧し、窒素パージ(19日(水)11:45)。漏洩のあった導管に仕切り板を挿入し、窒素で保圧力。
267	配管接続部からの原油の漏えい	漏えい	2018/12/18	大阪府	なし	屋外タンクの配管接続部分より重油が漏えい。タンク縁切りし漏えいは止まっている。漏えい量については調査中(100L未満程度と思われる)。
268	屋外タンクの配管フランジからガソリンの漏えい	漏えい	2018/12/21	神奈川県	なし	屋外タンク貯蔵所No.512タンク(浮き屋根式)の配管フランジ部からガソリンが流出し、付近の道路に濡れている。消防は、15:02 No.512タンク付属の受入配管に使用停止命令発動。15:06 漏洩停止。漏洩量=86リットル。
269	屋内タンクからの灯油の漏えい	漏えい	2018/12/22	茨城県	なし	同工場フロード工場別棟屋内タンク貯蔵所において、灯油160Lが漏洩した。同日12:55現在漏洩停止。同日14:26現在漏洩停止、回収完了。
270	圧縮機オイルタンクが破裂し出火	火災	2018/12/23	千葉県	なし	酸化エチレン製造装置において、圧縮機のオイルタンクの天板が破裂し、当該箇所から出火した。
271	潤滑油タンクの変形	その他(変形)	2018/12/25	神奈川県	なし	潤滑油を貯蔵する屋外タンク貯蔵所(No.238)において、払出し作業中にタンク本体の変形があった。漏洩はなし。同日13:31 タンクからの出荷作業開始。同日14:20 バトロール作業中に発見。(タンク本体より異音) 同日14:22 ポンプ停止。同日15:13、横浜市消防は使用停止命令を発動。同日16:05 現地本部解散。12月26日10:08 消防は、使用制限命令に切替。

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
272	プラスチックリサイクル 破砕機からの出火	火災	2018/12/27	愛知県	なし	プラスチックリサイクルセンター(自治体が回収したプラスチックゴミを処理)内の破砕機付近から出火。散水装置により、30分程度散水したが、煙が収まらなかったため、公設消防を依頼した。公設消防が到着時には、ほぼ鎮火。鎮火時間は4時10分。